

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2014 年 9 月 4 日

学籍番号	13m0023	学系	コーチング
氏名	中西 貴則		
学会等名 (正式名称)	2014 INCHEON ASIAN GAMES INTERNATIONAL SPORT SCIENCE CONGRESS		
開催日程	2014 年 8 月 20 日 ~ 2014 年 8 月 22 日		
開催場所 (国・都市名)	韓国・仁川		
発表演題名	Leadership style of a Japanese expert high-school rugby coach		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象></p> <p>初めての国際学会での発表だったが、たくさんの国々の方達の発表を聞くことや意見を交換することができ、とても充実した3日間を過ごすことができたと感じている。また、韓国の仁川で行われたこの学会だが、アジア国々だけでなくカナダやアメリカからの参加者もあり、本当にたくさんの国々の方達が参加されていた印象を感じた。また、本学の松浪理事長も初日の Keynote Speech にてお話をされていた。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容></p> <p>私はコーチのリーダーシップに関する研究を SPORT PEDAGOGY の領域にて発表しました。もともと他の領域に比べて、発表者が少なかったのですが、コーチに関する研究自体少なく、多くは体育や体育教師に焦点をあてた研究が多かった印象を受けた。その中で、世界規模のエリートスポーツリーダーの研究では、世界規模のエリートスポーツのリーダーたちは、選手への持続的な配慮や、運動能力の最も高いレベルを持っている選手のための新しいアプローチの適用や開発をするための関連する能力を備えているという報告があった。他には、スポーツコーチの開発の研究やコーチの振る舞いに関する研究がある一方で、体育と教師の役割の価値観の研究、また台湾においてのスクールコーチの見方の開発と経験に関する研究などがあり、コーチだけでなく幅広い研究が行われている印象が強かった。</p> <p><自身の発表への質問・コメント></p> <p>質問内容としては、「もう少し詳しく内容を知りたい」「方法についてももう少し教えていただきたい」などの質問が多かった。それらの質問については、ポスターに書いた内容に付け加えながら説明をした。また、日本のラグビーについての質問もあり、今の日本のラグビーの現状や、これからどのように W 杯や五輪を目指して強化しているのかということも話した。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。
提出期限は学会終了後2週間以内とする。